

# 県央・湘南の 環境と共生する都市づくり

No.9

## NEWS ● 2004. 2

● みんなで考え、行動する環境共生の都市づくり通信 ●



盛況だった新駅誘致ブース（平成15年11月 平塚市・寒川町の産業まつりより）

### 目 次

- 2～3P 県民フォーラム「新幹線新駅による地域産業振興」
- 4～5P いま、県央・湘南都市圏では「市町村の取組みから・企業の取組みから」
- 6P コラム「新駅に期待する」
- 7P 環境と共生する都市づくりをめざして ほか
- 8P 県央・湘南の魅力再発見／神奈川県東海道新幹線新駅設置促進期成同盟会



### 神奈川県東海道新幹線新駅設置促進期成同盟会

〔 神奈川県、平塚市、藤沢市、茅ヶ崎市、相模原市、厚木市、伊勢原市、海老名市、座間市、綾瀬市、寒川町、県市長会、県町村会、県商工会議所連合会、県商工会連合会 〕

特集



神奈川県東海道新幹線新駅設置促進期成同盟会では、寒川町倉見地区への新幹線新駅の誘致を進めています。また、寒川町倉見地区と相模川をはさんだ対岸の平塚側地区とを新たな道路橋でつなぎ、両地区を一体の都市として整備し、全国との交流連携の窓口となる、環境共生モデル都市「ツインシティ」の都市づくりを進めています。

平成15年11月に藤沢市労働会館で「新幹線新駅による地域産業振興」について、皆さんと考える県民フォーラムを開催しました。今回の特集では、その県民フォーラムの様様をご紹介します。

県民フォーラム「新幹線新駅による地域産業振興」

●日時：平成15年11月26日(水) 午後6時～8時 ●場所：藤沢市労働会館

当日は、財団法人北海道東北地域経済総合研究所 顧問 小林先生による基調講話の後、各分野でご活躍されている有識者の方々によるパネルディスカッションや参加者の皆さんを交えたフロア討議を通じて有意義な意見交換が行われました。



交通整備による地域の変化・産業配置

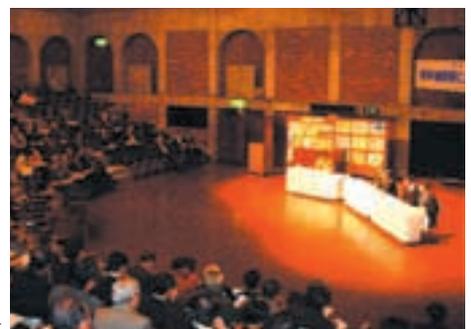
交通基盤の整備は地域を変えてきました。江戸時代では、高速大量輸送機関といえば北前船のような船であり、人口の多い都市は日本海側に多数あったのです。ところが、船から鉄道にその手段が変化し、東海道に先に鉄道が走るようになると、人口は日本海側中心の地域分散から東京一極集中へと変化したのです。また、東海道線に沿って産業も発展しました。ここ30年間では、産業配置に大きく影響を及ぼしたものの一つに新幹線という交通手段があげられることは間違いありません。

新幹線の特性

新幹線は、「高速性」、「大量輸送力」、「定時性（信頼性）」、「安全性」、「省エネルギー」などの多くの秀でた特性を有しています。そういった面からも、また利用される方にとっての快適性、利便性などの面からも、新幹線は在来線の延長上の商品などではなく、まさに革命的な商品であったと言えます。

新幹線の地域効果

このような新幹線の特性は、地域の振興へとつながっていきます。新幹線などの交通基盤の整備は人の移動を容易にし、そこから、ビジネス、産業、観光、通勤や通学など、あらゆる面で活性化が見込めます。特に、この寒川町倉見は、相模線とさがみ縦貫道路、東名高速道路などがうまくコンビネーションしている全国的にみても珍しい場所です。今後は、新駅及び東海道新幹線の活用方法、例えばパークアンド新幹線ライドなどを考えていくことがポイントであると思います。



フォーラム会場内の様子

基調講話

「新幹線新駅による地域産業振興」

財団法人  
北海道東北地域経済総合研究所  
顧問 小林 茂 氏



早稲田大学政治経済学部政治学科修了。  
日本政策投資銀行政策企画部長、中国支店長などを経て、2003年より同銀行監事。また、同年より現職を兼務。

# パネルディスカッション



慶應義塾大学  
総合政策学部 教授  
大江 守之 氏

## 地域活力を活かす、地域イメージを活かす

新幹線などの高速交通網整備により始まる様々な人との出会いの中で、新しい産業も起きてくるのだと思います。とはいえ、新しい産業を起こしていくためには、その地域に活力基盤がなければなりません。そういった意味では、この藤沢市から相模川沿いの地域というのは、青壮年層が多く活力に満ちた地域です。新幹線新駅の設置と合わせて、そのような活力を伸ばしていくことが必要です。

また、この倉見の駅は、高速交通網を活用した広域的な広がりの中にできる新しいタイプの駅だと思います。地域イメージを豊かにして、コミュニティ、自然資源などを活かしながら、地域の入り口であるこの駅をつくっていくと、もっと楽しいのではないのでしょうか。

## 新幹線新駅から始まるビジネスチャンス

神奈川県全体、県央・湘南の経済発展や地域振興という面から考えると新幹線新駅の設置は大変重要です。新幹線新駅への様々なアクセスが計画的に推進されれば、新たな産業やビジネスチャンスなどが創出され、観光産業なども活性化することでしょう。人口の流動化による波及効果は高いはずですが。

また、新幹線新駅周辺の開発については、市民、地域社会の意見を十分取り入れ、また地域の自然資源を活かしながら取り組んでいかなければなりません。市民がそこで一呼吸置けるような、ゆとりのある駅空間になれば、様々な産業が付随して発生し、また違った商業圏も生まれるのではないかと思います。



藤沢商工会議所  
工業第一部会長  
泉 繁行 氏



湘南SOHOクラブ  
運営委員会代表  
中前 卓司 氏

## ネットワークづくりは欠かせない

どんなビジネスでも、最初に顔を合わせないことには始まりません。そのためにも、新幹線を中心とした、人と人をつなぐようなインフラの整備は重要です。1つの交通ネットワークが出来上がれば、そこから新たな人的ネットワークが生まれ、ビジネスチャンスは更に広がります。市民レベルでの交流も深まることでしょう。様々な人的ネットワークが交流する中で、ネットワークのレベル、大きさに応じて交通インフラを使いわけていくこともできるようになるはずですが。ビジネス面でも、そして日々の生活面でも、ますますネットワークづくりは欠かせなくなると思います。

## 人の気持ちも動かす新幹線

財団法人北海道東北地域経済総合研究所 顧問 小林 茂 氏

東北新幹線開通後、東北地方に電気機器・流通関連企業が集中立地したことにより、東北地方の経済は活性化しました。これは、新幹線駅設置と合わせて駅関連の基盤整備を進めたことと、東京に簡単に行けるようになったという現実、心理的作用が大きな要因であったと思います。結局、工場誘致といっても人間の問題です。人間の気持ちを動かすことにより工場進出があり、そこからまた新たな技術革新、そして人との出会いが生まれるのではないかと思います。

## まとめ

パネルディスカッションの後、フロア討論が行われ、最後にコーディネーターの斉藤先生より、「高速道路や新幹線新駅などの広域的な交通網が整備されるというのは、1つのきっかけでしかありません。我々一人一人が新しい地域イメージをつくれるかどうか、この辺が1つ大きなキーワードになると思います。同時に、地元からの声と交流、やりとりを行いながら、その地域のイメージを具体化していく、そのところが非常に重要かと感じました。」とまとめていただきました。



コーディネーター  
産能大学 経営学部 教授  
斉藤 進 氏

県民フォーラムの詳しい内容は期成同盟会のホームページでご覧いただけます。  
<http://www.pref.kanagawa.jp/osirase/kendosomu/shin-eki/>

# いま、県央・湘

このコーナーでは、県央・湘南都市圏

## 市町村の取組みから



## 相模原市・多自然型の川づくり

相模原市は、市域の東部に広がる段丘上に都市機能が集積し充実した生活圏を形成している一方で、西部には相模川や斜面緑地といった豊かな自然があり、ゆとりあるみどり豊かな環境共生都市をめざしています。

相模原市内には、相模川・鳩川・境川・道保川・八瀬川などの河川があり、都市に残された貴重な自然空間となっています。その中から、相模原西部地域を流れる道保川において現在取り組んでいる「多自然型の川づくり」についてご紹介いたします。

道保川は、横山丘陵から湧水を集めて流下し、鳩川に合流する延長3.7 kmの河川です。都市化が進む市内では、唯一横山丘陵の段丘から流れ出る湧水を主体に形成されており、また首都圏近郊緑地特別保全地区の段丘と一体となった自然豊かな河川です。

相模原市では、これまでこれらの自然環境を保全しつつ、市民のいこいの場として道保川を整備していくため、「道保川水辺空間整備計画」などの策定を行ってきました。

平成13年からは、治水安全度の向上、親水性の向上、動植物の生息生育環境の復元等を目的に、河道改修に着手しています。

この改修では、右岸側の既存樹林を保全するため、石を詰めた鉄線かごを階段状に積み、また左岸側では、親水性を考慮し、緩やかな勾配で石を詰めた鉄線かごを張り、その上に現地発生の良質な土砂を覆土し在来の植物が生育しやすい環境を整えました。川沿いの管理用通路についても道保川の水辺空間を歩いて楽しむ



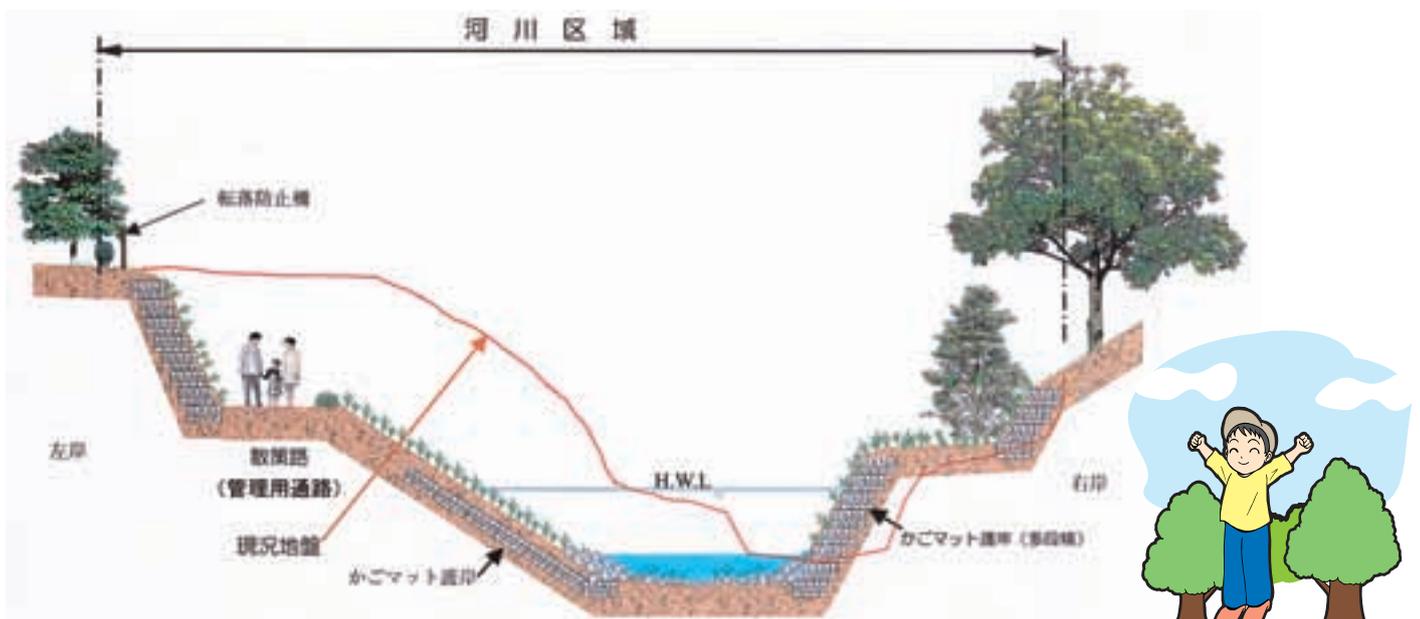
河川を身近に体感できる道保川公園

ことができるように散策路として整備しています。

また、工事とあわせ、動植物の生態環境を保全するため、カワニナ・マシジミ・サワガニ・シマドジョウ等を捕獲して、上・下流域の環境のよい箇所に放流するなど、動植物の生息環境の復元に努めています。

さらに、平成16年4月からは、アダプト制度（市民が地域にある公園、緑道などの里親になって愛着をもって、守り育てていく制度）による環境美化活動も実施される予定です。

このように、道保川に生息している動植物の環境を保全し市民の憩いの場として活用するため、これからも市民との協働により自然環境を守り育て、より良いまちづくりにつなげていきたいと考えています。



お問い合わせは、相模原市土木部河川整備課 電話 042-754-1111 (代表)

# 湘南都市圏では

環境共生の取組みをご紹介します。

## 平塚市環境共生型企業懇話会



## 企業の取組みから

県央・湘南都市圏では、企業の方々による環境との共生を目指した取組みが盛んに行われています。今回は、平塚市内で活動されている平塚市環境共生型企業懇話会の取組みをご紹介します。



この懇話会は、環境共生都市を目指す平塚市の呼びかけにより、平成12年に市内の有志企業が中心となって発足しました。現在、企業間の交流を通じた環境負荷低減の研究、環境保全の推進などを目的として、「環境」というキーワードで集まった業種も規模も異なる28社の担当者が活発に活動しています。

ここでは、各企業が環境関連の活動状況や問題点を自主的に持ち寄ってより良い改善策を検討し合っています。また、テーマによっては会員が講師となり自社の



訪れた市民の皆さんへの熱心な説明  
(平成16年2月平塚市で開催された懇話会フェアより)

の事例を報告したり、お互いの工場や他の先進施設を見学したりすることによって、個別の企業では対応が難しい課題へのノウハウを学んでいます。

これらの活動により、参加企業のISO14001取得率は約7割となるなど着実に成果を積み上げてきました。

懇話会では、今後も、環境保全や地域環境改善について、それぞれの実施事例や悩みを話し合いながら、さらに多くの成果を企業に持ち帰り、企業の社会的責任として、地球環境の維持改善に貢献していけるよう、今後も積極的に活動を続けていくことにしています。

懇話会に参加している各企業では、この場を通じて得た知識、経験を自社へ持ちかえることにより、各社独自の取組みを進めています。環境に優しい商品の開発はもちろんのこと、その過程においても、温暖化を防ぐため、コージェネレーション(\*1)や光触媒(\*2)などの先端技術を積極的に導入したり、資源の有効利用の観点から、廃棄物発生量の徹底的な削減やリサイクルなどに取り組んでいる企業があります。また、敷地内緑化のほか、沿道緑化、公道清掃などを進めることにより、地域社会との共生を図っている企業もあります。



工場を包む光触媒の膜に散水することにより、水膜の蒸発熱で室内を冷却している



沿道の工場緑化は市民の皆さんに大変好評

- \*1 同一燃料から電力と熱を同時につくり利用するシステム。
- \*2 光が当たることにより、反応物を活性化させ化学反応を促進させる作用。これにより、細菌や雑菌、その他汚れや臭いの原因になるさまざまな有機物、無機ガスを分解することができる。

### 平塚市環境共生型企業懇話会参加企業の皆さん

- (株)足立機械製作所
- エース技研(株)
- エフコ(株)
- 関西ペイント(株)平塚工場
- キャノン(株)平塚事業所
- (株)小松製作所建機  
エレクトロニクス事業部
- 三共(株)平塚工場
- 三協化学(株)平塚工場
- 三共化成工業(株)
- 三共電気(株)
- (株)サンユー

- (株)品川鐵工場
- 関島工業(株)
- 高砂香料工業(株)平塚工場
- 日産車体(株)
- ニッポ電機(株)
- 日本エアフィルター(株)
- 日本環境クリエイト(株)
- 日本パーカライズング(株)
- (株)パイロットコーポレーション平塚工場
- ピクルスコーポレーション(株)
- (株)不二家平塚工場
- フドー(株)

- 古河電気工業(株)平塚事業所
- (株)丸山工務所
- 三菱樹脂(株)平塚工場
- 横浜ゴム(株)平塚製造所
- 横浜ハイデックス(株)平塚事業所  
(50音順)



お問い合わせは、平塚市経済部工業労政課  
電話 0463-23-1111 (代表)



## 新駅に期待する

このコーナーでは、県央・湘南都市圏の首長や業界団体の代表者の方々に新駅等への期待をお話いただきます。



厚木アクストメインタワーからツインシティ方面（南方）を望む

厚木市は、東海道新幹線新駅の必要性を訴え、昭和50年から旧国鉄に対し、平塚市、伊勢原市とともに新駅設置運動を展開してまいりました。

また、藤沢市、綾瀬市、寒川町など相模川以東9市町においても、平成3年に協議会をつくり誘致活動が展開されたことに伴い、神奈川県が主体となって、誘致運動の一本化を図るため、平成8年に、神奈川県東海道新幹線新駅設置促進期成同盟会を結成し、相模川以東西10市町が一体となって誘致運動を展開し、現在に至っています。

神奈川県中央部の地域は、第二東海自動車道やさがみ縦貫道路（首都圏中央連絡自動車道）等の道路整備が進められるなど、首都圏の中でも主要な交通結節点としての条件を生かした都市圏として育成・整備が図られております。

本市は、神奈川県における県央・湘南都市圏に位置付けられるとともに、交通ネットワーク形成のための都市づくりとして「ハイウエーのまちあつぎ」を掲げ、まちづくりを進めておりますが、高規格道路等整備事業完成後は4つのインターチェンジにより、東海道新幹線新駅（南のゲート）とリニア中央新幹線駅（北のゲート）を結ぶ南北軸の強化につながることはもとより、全国への発信地として交通機能が更に高められると期待しています。

環境と共生するモデル都市「ツインシティ」の早期整備と実現は、本市南部方面地域との「人」「もの」「情報」の交流の活性化による個性的な都市づくりと、相互の補完連携により、地域全体への多大な投資効果をもたらす可能性があることから、今後も、関係者のお力添えのもと積極的な新駅誘致活動を進めるとともに、「ツインシティ」の早期実現を願っております。

### 「厚木市まちづくりシンボルマーク」

（平成12年3月21日制定）



まちづくりシンボルマークは、誰もが住んでよかった、住んでみたいと思える魅力あるまちづくりを推進するためのシンボルとなるもので、大空に広がる華麗な花火と、市民の皆様の光り輝くハートが未来に羽ばたく様子を表わしています。

厚木市 山口 巖雄 市長



プロフィール

やまぐち いわお  
昭和17年生まれ  
昭和62年4月から神奈川県議会議員。  
平成7年2月から厚木市長、現在3期目。  
役職として、全国市長会評議員、  
神奈川県市長会常任理事等。

## 環境と共生する都市づくりをめざして

神奈川県では、県央・湘南都市圏における環境と共生する都市づくりを推進するため、事業者・市町村・県の参画、協働による事業協議の制度「県央・湘南都市圏環境共生モデル都市づくり推進要綱」を運用しています。この要綱に基づいて実施される事業等に対して、次のような支援策を用意しています。

- ①環境共生の取組みに詳しい専門家をアドバイザーとして事業者の方へ派遣します。
- ②事業者の方が実施しようとしている事業の中で、どのような環境共生の取組みを導入できるか等について、県が委託調査を行い、調査結果を事業者の方へ提供します。
- ③要綱に基づき環境共生協定を締結した事業に関連して、県央・湘南都市圏の環境共生の取組みに寄与するような普及啓発活動を実施した事業者の方へ支援金を交付します。
- ④環境共生協定を締結した事業について「環境共生都市づくり事業」として知事が認証し、認証書と認証マークを交付します。事業者の方は、この認証マークを活用して事業をPRすることができます。



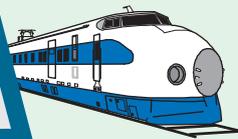
認証マーク

要綱とその支援策の詳細については、県のホームページでもご覧いただけます。  
<http://www.pref.kanagawa.jp/osirase/kendosomu/kankyou-kyousei/shien.htm>

### 問い合わせ先

神奈川県県土整備部県土整備総務室環境共生都市整備担当  
 電話：045-210-6036 FAX：045-210-8879  
 Eメール：kankyou-kyousei.50@pref.kanagawa.jp

## 新幹線の巻



日本で最初に新幹線の線路ができたのは…神奈川県だった！

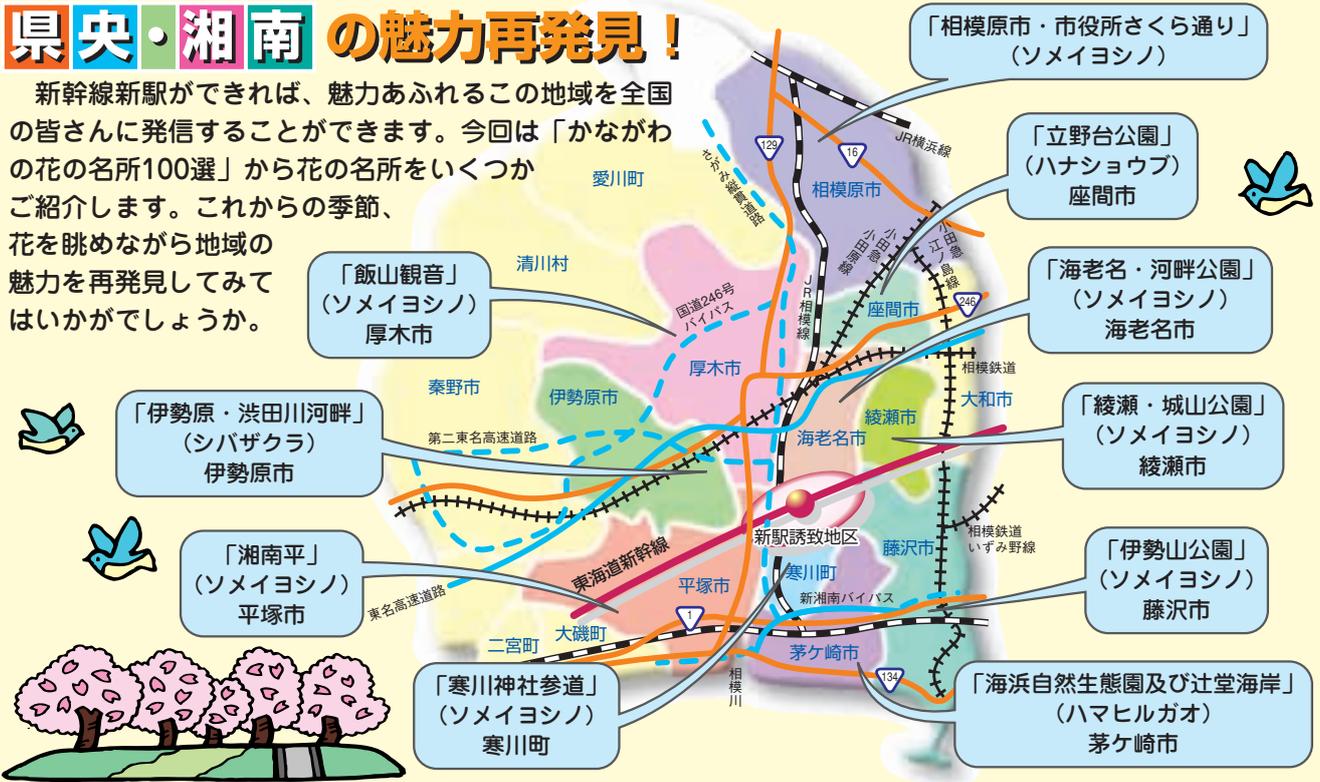


平塚市金目川付近を試走する試験車両（昭和37年7月20日）写真提供：久保 敏 氏

昭和37年6月、鴨宮から大磯の間（のち綾瀬間）に日本初の新幹線モデル線が開通しました。このモデル線では、新幹線の試験車を走らせていましたが、昭和38年3月には電車による当時の世界最高時速256キロが記録されたんですよ！その後、昭和39年10月の新幹線開業に向けて、このモデル線では何回も走行試験が行われました。新幹線の起源は神奈川にあったのですね。

## 県央・湘南の魅力再発見！

新幹線新駅ができれば、魅力あふれるこの地域を全国の皆さんに発信することができます。今回は「かながわの花の名所100選」から花の名所をいくつかご紹介します。これからの季節、花を眺めながら地域の魅力を再発見してみてくださいはいかがでしょうか。



詳しくは、(社)神奈川県観光協会ホームページ「かながわNOW」でもご覧いただけます。  
URL / <http://www.kanagawa-kankou.or.jp> (電話045-681-0007)

## 神奈川県東海道新幹線新駅設置促進期成同盟会について

「神奈川県東海道新幹線新駅設置促進期成同盟会（平成8年5月発足）」では、寒川町倉見地区への東海道新幹線新駅の誘致活動を行っています。

平成15年度は、平成15年10月、12月の2回にわたり、新幹線新駅の寒川町倉見地区への設置について、国会議員、国土交通省、JR東海等に対し要望活動を行いました。

また、同盟会を構成する市町周辺の市町村などを加えて、「まちづくり検討協議会」を設置し、ツインシティをはじめ県央・湘南都市圏における環境と共生する都市づくりの検討・協議を進めています。

### 県・市町担当窓口

神奈川県	県土整備部県土整備総務室	045-210-6036(直)
平塚市	都市整備部都市整備課	0463-23-1111(代)
藤沢市	計画建築部都市計画課	0466-25-1111(代)
茅ヶ崎市	都市部都市政策課	0467-82-1111(代)
相模原市	都市部都市交通計画課	042-754-1111(代)
厚木市	市政企画部企画課	046-223-1511(代)
伊勢原市	市長公室企画調整課	0463-94-4711(代)
海老名市	まちづくり部都市計画課	046-231-2111(代)
座間市	企画部企画政策課	046-255-1111(代)
綾瀬市	総務部企画課	0467-77-1111(代)
寒川町	都市部新幹線新駅対策課	0467-74-1111(代)

東海道新幹線新駅の誘致活動については、期成同盟会のホームページでご覧いただけます。

<http://www.pref.kanagawa.jp/osirase/kendosomu/shin-eki/>

発行元

神奈川県東海道新幹線新駅設置促進期成同盟会〔事務局：神奈川県県土整備部県土整備総務室〕  
〒231-8588 横浜市中区日本大通1  
電話：045-210-6036 ファックス：045-210-8879  
E-mail：kankyou-kyousei.50@pref.kanagawa.jp

**R100**  
古紙配合率100%再生紙を使用しています